



千葉春花さん
Chiba Haruka
萩荘小・6年

ジャベリックボール投げ・**県大会優勝**
野球でピッチャーもしています。全国大会では50m以上を目標に投げたいです。



菅原輝星くん
Sugawara Kuban
赤荻小・6年

走り高跳び・**県大会優勝**
1m 45cmが目標。10位以内を目指します。悔いが残らないよう全力を尽くしたいです。

陸上競技 athletics

飛べ。どこまでも遠く、高く。

6月19日に北上市で行われた全国小学校陸上競技交流会岩手県大会。千葉春花さん(萩荘小6年)が新競技・ジャベリックボール投げで49m 60cmを記録し、優勝した。走り高跳びでは菅原輝星君(赤荻小6年)が1m 34cmでトップに。2人は8月19日から横浜市で行われる全国大会に出場する。

萩荘小の陸上チームを率いる山田直幸教諭は「全国を目指して練習してきた。願いがかなった」とよここびを隠さない。赤荻小の熊谷啓之教諭は「雰囲気のにまらずに本番に臨んでほしい」と選手を激励した。(取材日・8月5日)



1_ ジャベリックボール(羽根のついたゴム製のボール)を力強いフォームで投げる千葉春花さん。ソフトボール投げに代わる新競技で全国へ
2_ 大舞台に向けて走り高跳びの練習を重ねる菅原輝星君

競泳 swimming race

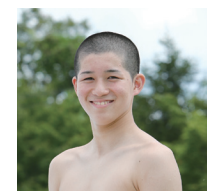
「人水一体」になる瞬間。

7月22日から24日まで秋田県で行われた東北高校選手権水泳競技大会兼日本高校選手権水泳競技大会予選会。1500m自由形で渡辺大将君(一関一高3年)が16分2秒84で優勝した。千葉すみれさん(同1年)も100m自由形で57秒86、50m自由形で26秒56をマークし、2種目で準優勝。2人は8月17日から広島市で開かれるインターハイに出場する。

7月9日、10日の両日、盛岡市で行われた県中学校総合体育大会では、辻山歩夢君(磐井中3年)が100mと200m背泳ぎで標準記録を突破し、全中出場を決めた。(取材日・8月1日)



勢いよく水面に飛び込む渡辺大将君



辻山歩夢くん
Tsujiyama Ayumu
磐井中・3年

100m背泳ぎ(1分01秒02)
200m背泳ぎ(2分12秒04)・**標準記録突破**

2回目の全中。前半から積極的なレース展開をしたいです。決勝に残り、表彰台に上れるよう頑張ります。



千葉すみれさん
Chiba Sumire
一関一高・1年

50m自由形
100m自由形・**東北大会準優勝**

小学1年から始めた水泳。最後まで途切れない緊張感が魅力です。全国では決勝まで残れるよう頑張ります。



渡辺大将くん
Watanabe Daisuke
一関一高・3年

1500m自由形・**東北大会優勝**

昨年のインターハイでは予選敗退。悔しい思いをしました。今年は決勝に進出して8強を目指します。

一関ミニバススポーツ少年団(佐々木将年監督、部員44人)女子チームは7月30日から奥州市で行われた東北電力旗東北ミニバスケットボール大会岩手県大会で3年ぶり2回目の優勝を果たした。8月12日から宮城県利府町で行われる東北大会に駒を進める。予選会では豊富な運動量で50点差以上をつけるなど相手を圧倒。出場32チームの頂点に立った。主将の杉内李緒さん(一関小6年)は「岩手県勢として初の優勝をこのチームで実現したい」と力を込める。

チームを指導して35年目の佐々木監督は「バスを重視した速攻で東北ナンバーワンを目指したい。選手たちにはレベルの高い大会で自分を磨いてほしい」と選手の活躍に期待している。(取材日・8月5日)

ミニバス mini basket ball

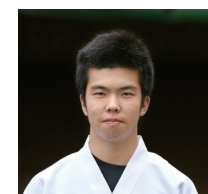
狙うは、東北ナンバーワン。



1_ 東北大会での活躍を誓う一関ミニバススポーツ少年団女子チーム / 2_ 実戦さながらのドリブル練習



集中力を高めて的を狙う池田和貴君



池田和貴くん
Ikeda Kazuki
一関工業・3年

獣・**全国大会準優勝**

練習通りに射ることだけを考えました。弓道を始めて3年。ここまで上達できたことがうれしい。

8月4日、鳥取県米子市で開かれた全国高校総体で、池田和貴君(一関工業3年)が準優勝に輝いた。決勝は外した選手が脱落していく「射詰り」形式。7射目を終え、池田君を含め2人だけが残った。互いの中を続けて迎えた10射目。「微妙に動作がずれた」池田君の矢は、わずかに的を離れた。全国制覇こそ逃したものの、輝かしい戦績に池田君は「全国でも通用すると自信が持てた」と笑顔。本望智英監督は「準優勝は上出来」とよろこんだ。(取材日・8月17日)

弓道 kyudo

kyudo

圧巻の全国準優勝。